

# ディプロマプログラム (DP) における 評価の手順 2018 年版

2018 年 5 月、11 月試験用



# ディプロマプログラム (DP) における 評価の手順 2018 年版

2018 年 5 月、11 月試験用

## ディプロマプログラム (DP)

### ディプロマプログラム (DP) における評価の手順 2018 年版

2017 年 8 月発行の  
英語原本『Diploma Programme Assessment Procedures 2018』の日本語版  
2017 年 12 月発行

本資料の翻訳・刊行にあたり、  
文部科学省より多大なご支援をいただいたことに感謝いたします。

非営利教育財団 国際バカロレア機構  
(International Baccalaureate Organization)  
15 Route des Morillons, 1218 Le Grand-Saconnex, Geneva, Switzerland

発行所  
International Baccalaureate Organization (UK) Ltd  
Peterson House, Malthouse Avenue, Cardiff Gate  
Cardiff, Wales CF23 8GL, United Kingdom

ウェブサイト : [www.ibo.org](http://www.ibo.org)

© International Baccalaureate Organization 2017

国際バカロレア機構 (以下、「IB」という。) は、より良い、より平和な世界の実現を目指して、チャレンジに満ちた 4 つの質の高い教育プログラムを世界中の学校に提供しています。本資料は、そうしたプログラムを支援することを目的に作成されました。

IB は、資料の中で利用する多様な情報源について、情報の正確さと信憑性を確認します。ウィキペディアのようなコミュニティーベースの知識源を使用する際には、特に留意します。IB は知的財産の原則を尊重し、利用する著作物すべてについて刊行前に著作権者を特定し、許諾を得るよう常に努力します。IB は、本資料で利用した著作物に対して許諾をいただいたことに感謝するとともに、誤記および遺漏がありました場合には、可能な限り早急に訂正いたします。

本資料に関するすべての権利は IB に帰属します。法令または IB 内部規則もしくは方針に明記されていない限り、IB の事前承諾書なしに、本書のいかなる部分も、形式と手段を問わず、複製、検索システムへの保存、送信を禁じます。詳しくは [www.ibo.org/copyright](http://www.ibo.org/copyright) をご覧ください。

IB の商品と刊行物は、IB ストア (<http://store.ibo.org>) でお求めください。ご注文については、販売・マーケティング部にお問い合わせください。

電子メール : [sales@ibo.org](mailto:sales@ibo.org)

International Baccalaureate、Baccalauréat International および Bachillerato Internacional は、  
International Baccalaureate Organization の登録商標です。



## IB の使命

### IB mission statement

国際バカロレア（IB）は、多様な文化の理解と尊重の精神を通じて、より良い、より平和な世界を築くことに貢献する、探求心、知識、思いやりに富んだ若者の育成を目的としています。

この目的のため、IB は、学校や政府、国際機関と協力しながら、チャレンジに満ちた国際教育プログラムと厳格な評価の仕組みの開発に取り組んでいます。

IB のプログラムは、世界各地で学ぶ児童生徒に、人がもつ違いを違いとして理解し、自分と異なる考えの人々にもそれぞれの正しさがあり得ると認めることのできる人として、積極的に、そして共感する心をもって生涯にわたって学び続けるよう働きかけています。



# IBの学習者像

すべてのIBプログラムは、国際的な視野をもつ人間の育成を目指しています。人類に共通する人間らしさと地球を共に守る責任を認識し、より良い、より平和な世界を築くことに貢献する人間を育てます。

IBの学習者として、私たちは次の目標に向かって努力します。

## 探究する人

私たちは、好奇心を育み、探究し研究するスキルを身につけます。ひとりで学んだり、他の人々と共に学んだりします。熱意をもって学び、学ぶ喜びを生涯を通じてもち続けます。

## 知識のある人

私たちは、概念的な理解を深めて活用し、幅広い分野の知識を探究します。地域社会やグローバル社会における重要な課題や考えに取り組みます。

## 考える人

私たちは、複雑な問題を分析し、責任ある行動をとるために、批判的かつ創造的に考えるスキルを活用します。率先して理性的で倫理的な判断を下します。

## コミュニケーションができる人

私たちは、複数の言語やさまざまな方法を用いて、自信をもって創造的に自分自身を表現します。他の人々や他の集団のものの見方に注意深く耳を傾け、効果的に協力し合います。

## 信念をもつ人

私たちは、誠実かつ正直に、公正な考えと強い正義感をもって行動します。そして、あらゆる人々がもつ尊厳と権利を尊重して行動します。私たちは、自分自身の行動とそれに伴う結果に責任をもちます。

## 心を開く人

私たちは、自己の文化と個人的な経験の真価を正しく受け止めると同時に、他の人々の価値観や伝統の真価もまた正しく受け止めます。多様な視点を求め、価値を見だし、その経験を糧に成長しようと努めます。

## 思いやりのある人

私たちは、思いやりと共感、そして尊重の精神を示します。人の役に立ち、他の人々の生活や私たちを取り巻く世界を良くするために行動します。

## 挑戦する人

私たちは、不確実な事態に対し、熟慮と決断力をもって向き合います。ひとりで、または協力して新しい考えや方法を探究します。挑戦と変化と機知に富んだ方法で快活に取り組みます。

## バランスのとれた人

私たちは、自分自身や他の人々の幸福にとって、私たちの生を構成する知性、身体、心のバランスをとることが大切だと理解しています。また、私たちが他の人々や、私たちが住むこの世界と相互に依存していることを認識しています。

## 振り返りができる人

私たちは、世界について、そして自分の考えや経験について、深く考察します。自分自身の学びと成長を促すため、自分の長所と短所を理解するよう努めます。

この「IBの学習者像」は、IBワールドスクール（IB認定校）が価値を置く人間性を10の人物像として表しています。こうした人物像は、個人や集団が地域社会や国、そしてグローバルなコミュニティの責任ある一員となることに資すると私たちは信じています。



# 目次

はじめに .....	1
<b>B3 コースワークの評価 .....</b>	<b>2</b>
B3.1 内部評価と予測スコア .....	2
B3.3 外部評価 .....	6
B3.4 モデレーションのサンプルについての科目別情報 .....	7
B3.5 録音または録画が必要な評価 .....	8
<b>B4 試験 .....</b>	<b>10</b>
B4.1 5月および11月の試験 .....	10
<b>C1a 「言語 A : 文学」 .....</b>	<b>12</b>
C1a.1 本セクションの内容 .....	12
C1a.2 教室でのクラスを受講している志願者 .....	12
C1a.3 提供されている言語 .....	12
C1a.4 学校からコースとして提供されない「言語 A : 文学」 .....	13
C1a.5 記述課題 .....	14
C1a.6 内部評価 — 口述課題 .....	15
C1a.7 個人口述コメントリー .....	16
C1a.8 個人口述プレゼンテーション .....	19
C1a.9 最終的な得点の算出 .....	19
C1a.10 内部評価の標準化 .....	19
C1a.11 提出期限 : 2018年5月と11月の試験セッション .....	19
<b>C3 「個人と社会」 .....</b>	<b>21</b>
概要 .....	21
C3.1 参考資料 .....	21
C3.2 内部評価 — 「個人と社会」の全科目 .....	22
C3.3 「ビジネスと経営」(SL・HL) .....	23
C3.4 「経済」 .....	24
C3.5 「グローバル政治」 .....	24
C3.6 「グローバル社会の情報技術」(ITGS) .....	25
C3.7 提出期限一覧 : 2018年5月と11月の試験セッション .....	26

<b>C4 「理科」</b> .....	<b>27</b>
概要 .....	27
C4.1 参考資料.....	27
C4.2 内部評価の要件 — 「生物」、「化学」、「物理」、および 「スポーツ・エクササイズ・健康科学」.....	27
C4.3 内部評価の要件 — 「コンピューター科学」.....	29
C4.4 内部評価の要件 — 「デザイン技術」.....	31
C4.5 コーディネーターの要件の概要.....	33
C4.6 試験の資材.....	34
C4.7 提出期限：2018年5月と11月の試験セッション .....	35
<b>C7 「課題論文」(EE)</b> .....	<b>36</b>
概要 .....	36
C7.1 参考資料.....	36
C7.2 提出期限一覧：2018年5月と11月の試験セッション .....	36
C7.3 規則 — 2018年5月および11月試験セッション .....	37
C7.4 利用できる科目.....	38
C7.5 アップロード用のEE/RPPFを完成させる .....	40
C7.6 予測スコアの提出.....	41
<b>C8 「知の理論」(TOK)</b> .....	<b>42</b>
概要 .....	42
C8.1 参考資料.....	42
C8.2 TOKの使用言語 .....	42
C8.3 内部評価プレゼンテーション.....	42
C8.4 外部評価エッセイ.....	44
C8.5 規則.....	45
C8.6 予測スコアの提出.....	46
C8.7 提出期限一覧：2018年5月と11月の試験セッション .....	46

## はじめに

本資料は、IB 資料『Diploma Programme Assessment procedure 2018 (ディプロマプログラム (DP) における評価の手順 2018 年版)』(『DP 手順ハンドブック』より改訂)のうち、日本語で指導を行う学校に最も関連する部分を抜粋したものです。

本資料は選択された抜粋から構成されているため、必ず IB 資料『Diploma Programme Assessment procedures』の完全版(英語、フランス語、スペイン語版が入手可能)も併せて読んでください。相互参照がしやすいよう、この資料の抜粋には完全版と同様の番号が振られています。

IB プログラムの料金並びに支払いに関する情報は、別の資料『Fees and billing information for IB World schools (IB ワールドスクール (IB 認定校) のための手数料及び支払いに関する情報)』(英語、フランス語、スペイン語版が入手可能)に記載してあります。

重要日程は「評価に関する重要日程」に記載されています。

## B3 コースワークの評価

### B3.1 内部評価と予測スコア

教師およびコーディネーターは必ず本項、および『ディプロマプログラム（DP）における評価の手順』の各教科の対応するセクションを参照し、内部評価と予測スコアの要件について精通しておく必要があります。

本項と B3.4 の項では、内部評価と予測スコアのための事務的な手順について説明します。

これらの手順は、採点の妥当性と信頼性を確かにするためのものです。科目担当教師は、内部評価と予測スコアの両方について密接に関わっているため、これらの手順について必ず認識していなければなりません。

内部志願者の評価と成績付与に教科担任が関与することは、ディプロマプログラムの評価プロセスの重要な部分です。

#### もっと詳しく

教師は、3つの方法でこのプロセスに関与します。

- a. 特定科目の特定レベルで志願者が完成させた学習成果物について、内部評価の採点結果を提出します。
- b. 特定科目、特定レベルの試験セッションで各志願者が達成するであろうと予想されるスコアを予測する。予測スコアは『ディプロマプログラム（DP）成績評価の説明』に記載されている評価基準に基づいたものであるべきです。
- c. 内部評価用に提出された志願者の学習成果物には教師がコメントを書き添え、採点がどのように配分されたかを説明することが奨励されています。これらのコメントが、その学習成果物の評価の適正化を行うモデレーターにとって非常に有益な情報となるためです。

採点結果と予測スコアに加え、コーディネーターは、教師が内部評価した学習成果物のサンプルをモデレーション（評価の適正化）のために提出しなければなりません。モデレーションに関する詳細は B3.1.4 を参照してください。

#### B3.1.1 内部評価の要件

各科目および各レベルで内部評価にあたる教師は、志願者の学習成果物が当該科目、当該レベルの要件を満たしていることを確認しなければなりません。これらの要件の詳細は、当該科目の『指導の手引き』（プログラムリソースセンター [PRC] にて入手可能）に記載されています。

教師は、個別の科目およびレベルに対応した IB の評価規準を用いて志願者の学習成果物を評価しなければなりません。教師の採点は必ず指定された最低点と最高点の間でなければなりません。

分数や小数を用いず、また見積もりによる点数であってはなりません。教師の評価は、必ず志願者が実際に完成させた学習成果物に基づいて行います。

志願者は、科目およびレベルごとの登録言語で、内部評価のすべての学習成果物を完成させなければなりません。

学習成果物や参加の状況が不完全であっても、教師は採点を行わなければなりません。B3.7の項を参照してください。志願者が学習成果物を提出しなかった場合は、IB インフォメーションシステム (IBIS) の採点欄に「F」を入力します。その場合、当該科目の当該レベルには成績が付与されません。

IB は、いずれの科目の内部評価においても、モデレーションや品質保証のために追加サンプルの提出や志願者全員の学習成果物の提出を要請することがあります。成績交付前のいかなる時点でもこの要請が行われる可能性があります。コーディネーターは志願者全員の学習成果物とそれに関連する資料を IB が利用できるよう、それらを試験セッション終了まで (9月15日または3月15日) 保管しておかなければなりません。

## B3.1.2 内部評価の採点結果と予測スコアの提出

内部評価 (IA) の採点結果と予測スコア (PG) は、**4月10日または10月10日**までに必ず IBIS に入力しなければなりません。(これはしばしば「IA / PG エントリー」と呼ばれています)。この日までに提出がなかった場合は、通常、カーディフにある IB グローバルセンターのアセスメント部門からコーディネーターにその旨の連絡があります。

内部評価の採点結果が IBIS に入力されていない場合、当該科目と当該レベルに成績は付与されません。また、予測スコアが提出されないと志願者に不利に働く可能性があります。

科目担当教師は IBIS の指定エリアにアクセスし、自分が指導する科目について志願者の内部評価の採点結果と予測スコアを入力します。コーディネーターは IBIS の「**School (学校)**」>「**School person maintenance (教職員登録管理)**」にアクセスして、教師用のアカウントを開設できます。

### もっと詳しく

教師用のアカウントを開設するために、コーディネーターは以下の情報が必要になります。

- 氏名
- 生年月日
- 国籍
- メールアドレス

(これらの情報は IBIS へのアクセスを提供し、データベースのセキュリティーを管理するために必要です。他の目的で使用されることはありません)。

次に、内部評価と予測スコアのデータを入力できるようにする科目を指定します。指示に従ってアカウントを開設します。

すると、当該教師にメールが届き、そのメールに記載されたリンクから、教師が「新規ユーザー」のアカウントページにアクセスできるようになります。教師はそこで個々にパスワードで保護されたアカウントを開設できます。

コーディネーターは、教師に対してアカウントへのアクセスを随時提供することができます。

ただし、教師が内部評価と予測スコアのデータの入力に使用する画面は、筆記試験の3カ月前にあたる**1月15日または7月15日**以降でなければ使用できません。

コーディネーターが内部評価と予測スコアのデータを入力するのではなく、教師が直接 IBIS に入力する場合は、IB アセスメントセンターに送信する前に、そのデータが正しいことをコーディネーターが必ず確認しなければなりません。内部評価と予測スコアの入力画面で「Complete mark entry (採点結果入力を完了)」を選択します。

送信期限 (**4月20日または10月20日**) の後で内部評価の採点が IBIS に誤って入力されたことに気づいた場合は、IB の裁量において当該の採点結果の修正が判断されます。IB アンサーに連絡してください。成績交付後は修正は受理されません。

### B3.1.3 予測スコア

予測スコアとは、当該科目でその志願者が達成するであろうと教師が予想する成績を指します。予測スコアは以下に基づいていなければなりません。

- 志願者の学習成果物の全てのエビデンス (証拠)
- IB の基準に関する教師の知識

予測スコアは全科目、および「知の理論」(TOK : theory of knowledge) と「課題論文」(EE : extended essay) について必要です。予測スコアはできる限り正確につけ、高すぎたり低すぎたりしないようにすることが重要です。

#### もっと詳しく

予測スコアは、成績授与会議が科目の成績分布を検討し、個別の志願者のパフォーマンスを決定する際にのみ使用されます。最終的に付与される成績と予測スコアを比較することによって、成績の妥当性が確認されます。予測スコアと成績の間に大きな開きがあった場合は、さらなる検討が行われる場合があります。1つまたは複数の評価要素の評価が不完全であった志願者をはじめ、特別な状況によって影響を受けた志願者については、予測スコアは使用されません。

教師による予測スコアは以下の段階評価でなければなりません。

- 各科目について付与される成績は1～7の段階評価 (7が最高点) です。
- TOK と EE については A から E の段階評価 (A が最高点) です。「言語 A : 文学」(SL) の「学校のサポートの下で行われる自己学習」コースには、「予測スコア」は求められません。予測スコアを志願者に開示すべきか否かについては、各校の裁量に委ねられています。

## B3.1.4 モデレーション

IB は、さまざまな科目において、コースワークの内部評価のモデレーションを行います。

### モデレーションとは何か？

モデレーションは、教師が採点したコースワークのサンプルを外部試験官が見直し、当該採点結果が正しいものであるか、厳しすぎないか、または甘すぎないか否かを確認するものです。教師の採点結果が厳しすぎる、または甘すぎる場合、モデレーション係数が決定され、当該校による特定の評価要素の採点すべてに適用されるため、学校及び高等教育機関は学校間の内部評価の（国際的）基準の一貫性に確信を得ることができます。

### モデレーションの目的

モデレーションの目的は、内部評価の採点の全てが同様の基準で行われていることを確実にすることです。つまり、採点者が誰であれ、志願者の学習成果物の採点結果が同じものになるということです。

校内では、採点結果が互いに一貫したものになるよう、全ての科目担当教師は採点結果を標準化する必要があります。その後、IB がこれを適用するため、全ての学校の採点結果が互いに一貫性のあるものとなるのです。

### モデレーションの結果

モデレーションの理想的な結果は、学校が国際基準に準拠しており、調整が必要ないと IB が特定することです。

不一致が見られる場合、全志願者の採点についてモデレーション係数が適用されます。さらに、学校は自校の採点結果が国際基準とどう異なるかについてのフィードバックを受け取ります。

### モデレーションのサンプル

教師はモデレーション用に志願者の学習成果物 1 セットをアップロードしなければなりません。これは、IBIS を通じて行われます。志願者の学習成果物は、その評点範囲における標準的評価を受けたものであると、適切なエビデンスに基づいて IB が確証を持っているものが選ばれます。サンプルが必要とされる各科目において何を提出すべきかの詳細は、『ディプロマプログラム (DP) における評価の手順』のパート C、各科目のセクションに記載されています。

## B3.3 外部評価

志願者の学習成果物が外部評価される場合、志願者の科目担当教師ではなく、IB が指名した試験官が評価するということです。（校内の科目担当教師による評価は内部評価と呼ばれます）。

### B3.3.1 試験以外の評価要素

試験の答案と選択式の解答用紙以外の一部の評価要素も外部評価されます。

以下の表は、IBIS の eCoursework システムへのアップロードが必要となるこれらの評価要素と、その学習成果物の提出締切日を示しています。

科目／評価要素	最終締切日
EE	3月15日／9月15日
TOK エッセイ	3月15日／9月15日
「言語 A：文学」の記述課題	3月15日／9月15日
「言語 A：言語と文学」の記述タスク	3月15日／9月15日
「文学とパフォーマンス」の記述コースワーク	3月15日／9月15日
「言語 B」の記述課題	3月15日／9月15日
「初級外国語」(ab initio) 記述課題	3月15日／9月15日
「美術」：比較研究	4月30日／10月30日
「美術」：プロセスポートフォリオ	4月30日／10月30日
「音楽」：音楽的関連性研究	4月30日／10月30日
「映画」：個人研究とプレゼンテーション	4月30日／10月30日
「ダンス」：構成と分析 (composition and analysis)	4月30日／10月30日
「ダンス」：ダンス研究 (dance investigation)	4月30日／10月30日
「演劇」：ソロ作品 (HL のみ)、監督のメモおよび研究成果のプレゼンテーション (SL および HL)	4月30日／10月30日
「言語 A：文学」(SL) の「学校のサポートの下で行われる自己学習」コースの口述試験の録音	5月7日／11月7日

## B3.4 モデレーションのサンプルについての科目別情報

### B3.4.1 SL と HL の両レベルを通してサンプリングされる科目

以下の科目は、SL と HL の両レベルで同一または非常に似た内部評価要件を有します。

- 「生物」
- 「化学」
- 「コンピューター科学」
- 「経済」
- 「地理」
- 「歴史」
- 「グローバル社会の情報技術」(ITGS)
- 「言語 A : 言語と文学」
- 「音楽」: 創作
- 「音楽」: ソロ演奏
- 「哲学」
- 「物理」
- 「演劇」

学校内で当リストの科目の SL と HL の両方が指導される場合、IBIS は両レベルを代表するサンプルを 1 セット選択します。

### B3.4.2 モデレーション用の個人口述コメントリー

以下に挙げる科目について、IBIS は内部評価の採点結果全体からサンプルの志願者を選びますが、コーディネーターは必ず選ばれた志願者の個人口述コメントリーの録音を提出しなければなりません。

- 「言語 A : 文学」と「言語 A : 言語と文学」(※)
- 「言語 B」
- 「初級外国語」(ab initio)

※ 「言語 A : 文学」の「学校のサポートの下で行われる自己学習」コースの志願者は除外されます。

### B3.4.3 「歴史」

IBIS が「歴史」のサンプルを選ぶ際、各志願者の学習したレベルおよびオプションは考慮されません。

## B3.4.4 「数学」(HL)

IBISが「数学」(HL)のサンプルを選ぶ際、各志願者の学習したトピックまたはオプションは考慮されません。

## B3.4.5 「音楽」

「音楽」(HL)の内部評価には、ソロ演奏と創作の2つの評価要素があります。各評価要素につき、別個のサンプルを提出する必要があります。

# B3.5 録音または録画が必要な評価

## B3.5.1 録音または録画についての要件

以下の科目および内部評価の評価要素で志願者のパフォーマンスや面接を録音または録画する必要があります。

- 「言語 A：言語と文学」 — 個人口述コメントリー
- 「言語 A：文学」 — 個人口述コメントリー
- 「言語 A：文学」(SL)の「学校のサポートの下で行われる自己学習」コースの口述コメントリー
- 「言語 B」 — 個人口述
- 「初級外国語」(ab initio) — 個人口述
- 「文学とパフォーマンス」 — パフォーマンスと個人口述プレゼンテーション
- 「音楽」 — ソロ演奏、グループ演奏、創作
- 「映画」 — プレゼンテーション
- 「演劇」 — 協働プロジェクト

録音(画)のフォーマットが何であれ、コンテンツを編集してはなりません。録音(画)が編集されている場合、学問的な違反行為と見なされ、資格授与委員会に報告される場合があります。

「音楽」のグループパフォーマンスで、個人の志願者ではなくグループ全体での評価が行われる場合は、録音(画)に関する要件が必ずしもすべて適用されるわけではありません。より詳細な情報は音楽「指導の手引き」を参照。

コーディネーターは、IBに提出するフォーマットにかかわらず、すべての録音(画)のコピーを保管しなければなりません。

## B3.5.2 インタビューでの教師の役割

教師の発言もすべて録音します。

その科目にとって適切であれば、教師には以下の行動が認められています。

- 必要に応じて、大きな声ではっきりと話すよう志願者に促す。
- 志願者が極度に緊張してサポートが必要な場合に介入する。
- 志願者が特定の部分に時間をかけすぎたり完全に的が外れていたりする場合にはそれを示唆する。
- ほかにつけ加えたいことがないかどうかを志願者に尋ねる。

以下の行為は**禁じられています**。

- 志願者の発言を訂正する。
- 指導する、またはコーチする。
- 誘導的な質問をする。
- 解答を示唆する。

## B3.5.3 問題への対処

- 録音や録画を途中で停止したり編集したりすることはできません。技術的な問題で録音や録画が停止してしまった場合は、再開後にその録音内で理由を説明してください。
- 録音中または録画中に変則的な事態が生じた場合は、IBの学校支援サイト「IB アンサー」に状況説明の詳細なレポートを提出してください。

### B4.1 5月および11月の試験

IBの試験監督者は、5月および11月に行われる筆記試験の実施手続きを完全に熟知していなければなりません。試験監督者全員は、巻末付録1に記載されている、IBディプロマプログラム試験の実施要項と各試験で利用可能な資料について熟知していなければなりません。巻末資料2には、計算機の使用について記載されています。

コーディネーターは必ず、各試験監督者が当該情報のコピーにアクセスを有し、試験開始前にこれを読了していることを確認しなければなりません。

#### B4.1.1 2018年5月と11月の試験日程

試験日程は以下の通りです（クリックするとウェブページに移動します）。

- [2017年5月の試験日程](#)
- [2017年11月の試験日程](#)

#### B4.1.2 2019年5月と11月の試験日程

- 2019年5月の試験日程は、2019年5月2日（木）に開始され、2019年5月24日（金）に終了します。
- 2019年11月の試験日程は、2019年11月1日（金）に開始され、2019年11月22日（金）に終了します。

#### B4.1.3 IB試験日程を作成する際に適用される原則

- IBディプロマプログラムが提供されている国の数からみて、公休日、祝日または学校の休暇、或いは宗教上の祝祭日を考慮することは不可能です。
- 登録データを利用し、科目の日程が重なることにより影響を受ける志願者の数が世界的に最小限になるように配慮されています。
- 志願者が同日に異なる言語科目で試験を受ける必要がないよう、「言語と文学」と「言語の習得」の科目は同日に重ならないよう日程が組まれています。
- アラビア語の試験は「言語と文学」または「言語の習得」のいずれにおいても、イスラム教信者の志願者に敬意を表し、金曜日にならないよう日程が組まれています。
- ほぼ全ての科目が連日の午後と午前のパターンで日程が組まれています。これは志願者にとっての継続性を維持しつつ、いかなる日でも欠席による影響を最小限にするためです。

- 志願者数が最も多い科目は、志願者の仕事量を分配するため、連日ではなく、3週間にわたり可能な限り均等に割り振られています。言語の試験と理科の試験も、同様の理由から毎週それぞれ3週間にわたり予定が組まれています。
- 英語、スペイン語およびフランス語を除き、「言語 A」の試験は「言語 B」の試験とは別に日程が組まれています。
- 試験期間は3週間です。これは、予定が重なる数、試験のスケジュールを運営する際の学校の間接諸経費、指導に費やせる時間、および時間通りに求められる質の採点を行う IB の責任において、容認できるバランスを維持するためです。

## C1a 「言語 A：文学」

### C1a.1 本セクションの内容

「言語 A：文学」のセクションは3つのサブセクションから構成されています。

C1a.2～11：「言語 A：文学」（教室でのクラスを受講している志願者）

C1a.12～14：「言語 A：文学」（「学校のサポートの下で行われる自己学習」コースの志願者）

C1a.15：「言語 A：文学」（「特別リクエスト言語」）

### C1a.2 教室でのクラスを受講している志願者

本セクションは、「言語 A：文学」を教室でのクラスを受講している生徒に適用されます。

#### C1a.2.1 参考資料

本セクションは以下の参考資料と併せて読む必要があります。

2018年5月と11月の試験セッション	
資料名	発行日
「言語 A：文学」指導の手引き	2011年2月発行。2011年2月、2011年11月、2012年8月および2013年8月更新。
指定作家リスト（PLA）	2011年7月
指定翻訳作品リスト（PLT）	2014年2月

### C1a.3 提供されている言語

B1.6.1の項には、2018年5月と11月、および2019年5月と11月に受験可能な「言語 A：文学」の科目が記載されています。「言語 A：文学」で提供されていない特別申請言語への申請手続きについては、「C1a.15 特別申請言語」のセクションを参照してください。

「言語 A：文学」で扱う作家と作品は、学習言語について IB が指定した PLA、および IB が指定した PLT から、学校が選択します。

すべての選択が、IB 資料『「言語 A：文学」指導の手引き』、学習言語の PLA、および PLT の規則と指示に従っていることを確認するのは学校の責任です。

ここに記載された PLA は、プログラムリソースセンターの「言語 A : 文学」のページで入手可能です。

アフリカーンス語 A	ドイツ語 A	ルーマニア語 A
アルバニア語 A	ヘブライ語 A	ロシア語 A
アムハラ語 A	ヒンディー語 A	セルビア語 A
アラビア語 A	ハンガリー語 A	ソト語 A
ベラルーシ語 A	アイスランド語 A	シンハラ語 A
ベンガル語 A	インドネシア語 A	スワジ語 A
ボスニア語 A	イタリア語 A	スロバキア語 A
ブルガリア語 A	日本語 A	スロベニア語 A
カタルーニャ語 A	韓国語 A	スペイン語 A
中国語 A	ラトヴィア語 A	スワヒリ語 A
クロアチア語 A	リトアニア語 A	スウェーデン語 A
チェコ語 A	マケドニア語 A	タイ語 A
デンマーク語 A	マレー語 A	トルコ語 A
オランダ語 A	現代ギリシャ語 A	ウクライナ語 A
英語 A	ネパール語 A	ウルドゥー語 A
エストニア語 A	ノルウェー語 A	ベトナム語 A
フィリピン語 A	ペルシア語 A	ウェールズ語 A
フィンランド語 A	ポーランド語 A	
フランス語 A	ポルトガル語 A	

## C1a.4 学校からコースとして提供されない「言語 A:文学」

「言語 A : 文学」を科目として提供するリソースが校内にない場合、外部の教師を利用することが出来ます。外部の教師を利用できない場合、または外部の教師が内部評価を行うことができない場合、志願者は、「学校のサポートの下で行われる自己学習」コースの志願者として登録されなければならない、また同科目は SL でしか登録できません。

### C1a4.1 科目特有の禁止事項および例外

「言語 A : 文学」の志願者が以下を学習することは認められません。

- 「言語 A : 言語と文学」コースの一部としてすでに学習している文学作品
- 「言語 B」コースの一部としてすでに学習している文学作品
- 「文学とパフォーマンス」コースの一部としてすでに学習している文学作品

## C1a.5 記述課題

### C1a.5.1 作品の選択

記述課題ではコースのパート1で学習した翻訳作品を評価します。これらの作品は、学習する「言語 A」以外の言語で書かれたものでなければならず、翻訳された作品を学習します。

これらの作品は、かならず PLT に記載されたものから選ばなければなりません。リストに掲載されている作家の作品でも、当該作品がリストに掲載されていない場合は学習してはなりません。

### C1a.5.2 指導、学習、および評価の言語

#### 指導言語

通常翻訳作品は、「言語 A」コースに不可欠な要素として「言語 A」の試験言語で教えられます。しかし、複数の言語で「言語 A：文学」コースを提供する学校は、一般的な翻訳文学コースを学校の使用言語で構成することができます。

#### 学習言語

志願者は作品を原語または翻訳作品として読むことができます。

#### 評価：

記述課題は、必ず学習言語で書かなければなりません。学習言語以外で作品を読む場合、志願者は課題で取り上げる引用部分を学習原語に翻訳しなければなりません。志願者が望むなら、引用の原文を脚注として含めることができますが、これを語数に数えるべきではありません。

### C1a.5.3 課題

記述課題の準備には、4つの段階があります。

1. 「対話形式の口述活動」(インタラクティブオーラル)
2. 「振り返りの記述」(リフレクティブステートメント)
3. 「教師の監督下での記述活動」(スーパーバイズド・ライティング)
4. 提出用の課題

これらの段階は必ずこの順序で完了し、第1～3段階は、パート1で学習した各作品について完了しなければなりません。その後で、志願者は提出用の課題のための要素を選びます。

志願者は、提出用の課題のために、学校の翻訳作品コースとは異なる要素を選ばなければなりません。複数の志願者が同じ要素を選ぶ場合は、それぞれ独立して作業を行い、課題が異ならなければなりません。

教師は、記述課題の最初の草稿について、生徒にフィードバックを与えることはできますが、草稿や最終版を修正することは決して行ってはなりません。

しかし、教師は、自分が知る限りにおいて、それが「志願者本人が取り組んだものである」ことを認証できるよう、課題の最終版を必ず読まなければなりません。

本資料の「B3.2 認証」、および「A5 学問的誠実性」も参照してください。

## C1a.5.4 記述課題の提出

対応する「振り返りの記述」を含む、完成した記述課題は、外部評価用に、5月の試験セッション向けは2018年3月15日まで、11月の試験セッション向けは2018年9月15日までにアップロードしなければなりません。

パート1で学習した他の作品の「振り返りの記述」と「教師の監督下での記述活動」のコピーは、生徒全員についてファイルで保管しておかなければなりません。後日、カーディフにあるIBグローバルアセスメントセンターが提出を求めることがあります。

## C1a.6 内部評価 — 口述課題

教師は、志願者全員の口述課題の内部評価を行う必要があります。すべての志願者は必ず、評価対象となる2つの必須の口述活動を完了しなければなりません（IB資料『「言語A：文学」指導の手引き』参照）。

### もっと詳しく

2つの口述活動は以下のとおりです。

#### 標準レベル (SL)

- パート2で学習した作品の抜粋に基づく個人口述コメントリー。4つの評価規準に従って評価される。
- シラバスのパート4で学習した作品に基づく個人口述プレゼンテーション。3つの評価規準に従って評価される。

#### 上級レベル (HL)

- パート2で学習した詩に基づく個人口述コメントリーと、パート2で学習した他の1つの作品に基づくその後のディスカッション。6つの評価規準に従って評価される。
- シラバスのパート4で学習した作品に基づく個人口述プレゼンテーション。3つの評価規準に従って評価される。

## C1a.7 個人口述コメント

この内部評価はコースのパート2（「精読学習」）に基づくもので、教師の評価のモデレーションの基礎を形成します。

すべての作品を学習した時点で、教師は、試験の条件に従って、SL では個人口述コメント、HL では個人口述コメントおよびディスカッションを実施しなければなりません。HL では、クラス全体に対して行われる個人口述コメントで、パート2 で学習した3つすべての作品を使用することが期待されています。

### C1a.7.1 個人口述コメントの形式および長さ

個人口述コメントの形式および長さは以下の表のとおりです。個々の志願者に、どの作品から特定の抜粋を準備するかを前もって知らせてはいけません。

評価の形式	準備時間（分）	評価時間（分）
<b>SL</b>		
「考察を促す問い」が添付された、パート2 で学習した作品の1つからの抜粋についてのコメント（論評）と、それに続く質疑応答。パート2 で学習したすべての作品が個人口述コメントに使用できる。	20	10
<b>HL</b>		
「考察を促す問い」が添付された、パート2 で学習した詩についてのコメントと、それに続く質疑応答。この直後に、パート2 で学習したもう片方の作品についてのディスカッションが続きます。	20	20（コメントおよびディスカッションにそれぞれ約10分）

SL では、個人口述コメントは合計10分以内で行わなければなりません。試験官は、10分後に聴くのを中止するよう指示されます。

HL では、個人口述コメントとそれに続くディスカッションは、合計20分以内で行わなければなりません。口述試験を行う教師は、試験の時間管理に責任を持ち、コメントとディスカッションの間で時間が適切に配分されるよう確認する必要があります。試験官は、20分後に聴くのを中止するよう指示されます。

## C1a.7.2 個人口述コメントリーのための教師の準備

教師は、コメントリーの前に、抜粋と「考察を促す問い」を準備しなければなりません。事前に準備されるすべての評価用資材は、安全な状態で保管する必要があります。志願者には、抜粋または「考察を促す問い」に関して事前に知識を与えてはいけません。

教師は、個人口述コメントリー用の抜粋と「考察を促す問い」の選択について全面的な責任があります。志願者は、評価の手段となる作品を選ぶことができません。各抜粋は、内容の複雑さによって、20～30行とします。長さが異なる詩の形式（例えばソネット）は許容されます。

その日のうちに、または数日以内に数人の志願者を評価する場合は、変化をもたせ、また志願者が自分の評価の内容を判断できないようにするために、反復は無作為に行わなければなりません。

志願者数	異なる抜粋の数
1～5	志願者1人につき1
6～10	6
11～15	7
16～20	8
21～25	9
26～30	10

志願者が30人以上いる学校では、それに比例してさらに多くの抜粋を追加しなければなりません。例えば、53人の生徒がいる学校は19の異なる抜粋（10 + 9）準備する必要があります。

それぞれの抜粋には、2つ以下の「考察を促す問い」を添付しなければなりません。抜粋および「考察を促す問い」の選択に関するガイドラインは、IB資料『「言語A：文学」指導の手引き』に記載されています。

## C1a.7.3 個人口述コメントリーの実施

個人口述コメントリー（SL）と個人口述コメントリーおよびディスカッション（HL）は、評価の対象となっている言語で行わなければなりません。

### もっと詳しく

#### 録音

教師はモデレーションのために、5人分、8人分、または10人分のみの録音をアップロードしますが、後日追加のサンプルの提出を求められる場合があるため、録音はすべての志願者の個人口述コメントリーを録音する必要があります。

### 実際の手配

志願者が邪魔されずに自分の資料を準備できるように、評価が行われる部屋に近い一室を準備室として割り当ててください。この準備室にいる間、志願者は監督されなければなりません。

志願者は、学校が提供する下書き用紙のみを準備室に持ち込むことができます。準備時間の間に作られたメモは、試験が行われる部屋に持っていき、口述試験の間に使用してかまいません。

- 「考察を促す問い」を添付した、抜粋（SL）または詩（HL）のコピーを志願者に手渡します。
- 志願者は、かならず監督下でコメントリーを準備します。
- 志願者は、参考のためのメモを作っかまいませんが、準備されたスピーチの台本を作ることはできません。

## C1a.7.4 録音中の教師の役割

### 志願者の回答中（約 10 分）

- 志願者に、抜粋について自分が準備したコメントリーを述べるよう求める。
- 絶対に必要な場合を除き、この段階では志願者に介入しない。
- 次の質疑応答の時間を見越して、志願者のコメントリーが 7～8 分後に確実に終わるように促す。
- 10 分間でコメントリーとそれに続く質疑応答を終わらせる。

### HL のみ

コメントリーが終了した時点（10 分後）：

- 録音装置をオフにしない。
- ディスカッションが始まっていることを生徒に知らせて、ディスカッションの対象となる作品を紹介する。
- ディスカッションを開始して、生徒がその文学作品を探究するように促す。

教師は IB 資料『「言語 A」教師用参考資料』にあるディスカッションの実施についての手引きを参照してもかまいません。

志願者のパフォーマンスは、IB 資料『「言語 A: 文学」指導の手引き』の内部評価の評価規準を用いて評価してください。内部評価の採点入力期間中に、志願者それぞれの採点結果を IBIS に記録してください。

## C1a.8 個人口述プレゼンテーション

個人口述プレゼンテーションは、コースのパート4で学習する作品に基づいて行われます。各志願者は、教師と相談して、この活動のためのトピックを選びます。志願者が選ぶトピックが「言語 A：文学」の内部評価の「レベルの説明」を利用することで効果的に評価できることを確認するのは教師の責任です（IB 資料『「言語 A：文学」指導の手引き』を参照）。

教師は、以下を行うことが求められます。

- IB 資料『「言語 A：文学」指導の手引き』の内部評価の評価規準を用いて、各志願者のプレゼンテーションを評価する。
- 評価規準ごとに各志願者に与えた採点結果を記録する。
- 採点結果について説明するため、各志願者について簡潔なコメントを書き込む。

## C1a.9 最終的な得点の算出

個人口述コメントと個人口述プレゼンテーションは、最高得点がそれぞれ 30 点です。最終的な得点（最高得点は 60 点）を 2 で割ります。

IBIS には、各志願者の最終的な平均点を提出してください。整数を使用し、小数、分数、または概数は使用しないでください。得点を 2 で割った小数点以下の数字は切り上げます。

## C1a.10 内部評価の標準化

「言語 A：文学」は、レベルごとのモデレーションを 1 セットの学習成果物をサンプルとして行う科目です。志願者の内部評価の評価要素の採点を行う教師が複数いる場合は、必ず学校内で内部評価の標準化を行わなければなりません。

## C1a.11 提出期限：2018 年 5 月と 11 月の試験セッション

コースワークはすべて、IBIS eCoursework システム経由で提出します。コーディネーターおよび教師は提出時に必要となるフォームの詳細について、「評価用フォーム」を参照してください。

提出日については、「評価に関する重要日程」を参照してください。

セッション	行動	方法／フォーム	提出期限
2018年5月／ 2018年11月	評価用の記述課題を アップロード	IBIS eCoursework へアップロード 1/LWA の提出は不要になりました。	2018年3月15日／ 2018年9月15日
2018年5月／ 2018年11月	志願者の予測スコア と内部評価の採点結 果の提出	IBIS を通じて行います。	2018年4月20日／ 2018年10月20日
2018年5月／ 2018年11月	内部評価用録音（個人 口述コメントリー）の サンプル、および関連 資料をアップロード	IBIS eCoursework へアップロード、 抜粋と「考察を促す問い」を含める 1/LWA の提出は不要になりました。	2018年4月20日／ 2018年10月20日

## C3 「個人と社会」

### 概要

本項には「個人と社会」の科目についての情報が含まれます。本項で特に言及されていない科目に関する情報については、セクション C3.1 のリストにある各科目の「指導の手引き」を参照してください。「環境システムと社会」(ESS : environmental systems and societies) についての情報はセクション C10.a に記載されています。

### C3.1 参考資料

本項で提供される情報は、該当する科目の「指導の手引き」と併せて読む必要があります。

2018年5月と11月の試験セッション	
資料名	発行日
IB 資料 (英語版) 『Business mangement guide (「ビジネスと経営」指導の手引き)』	2014年2月発行、2015年8月、2015年11月更新改訂
IB 資料 『「経済」指導の手引き』	2010年11月発行、2011年11月、2012年8月更新改訂
「環境システムと社会」ウェブサイト	2015年5月
IB 資料 『「地理」指導の手引き』	2009年2月
IB 資料 (英語版) 『Global politics subject guide (「グローバル政治学」指導の手引き)』	2015年2月発行、2015年11月、2016年11月更新改訂
IB 資料 『「歴史」指導の手引き』	2015年1月
IB 資料 (英語版) 『Information technology in a global society guide (「グローバル社会の情報技術」(ITGS) 指導の手引き)』	2010年1月発行、2016年1月更新改訂
IB 資料 (英語版) 『Philosophy guide (「哲学」指導の手引き)』	2014年1月
IB 資料 (英語版) 『Psychology guide (「心理学」指導の手引き)』	2009年2月
IB 資料 (英語版) 『Social and cultural anthropology guide (「社会・文化人類学」指導の手引き)』	2018年2月発行、2010年11月更新改訂
IB 資料 (英語版) 『World religions guide (「世界の宗教」指導の手引き)』	2011年5月発行、2012年5月、2013年8月に更新改訂

## C3.2 内部評価 — 「個人と社会」の全科目

内部評価は、コースの間に志願者が完成した学習成果物に基づいて行われ、「個人と社会」の全科目（SL・HL 共通）の要件です。志願者の成果物サンプルの提出により、教師による採点結果のモデレーションを行い、IB は認定校全体にわたる共通の規準を設けることができます。

### C3.2.1 モデレーションのサンプル

モデレーションのためのサンプルは、IBIS が特定したものです。

教師がコーディネーターに提出する物は以下のとおりです。

- 志願者の予測スコアと内部評価の採点結果
- サンプル志願者の学習成果物

学内で合意された提出期日までに提出を済ませてください。

### C3.2.2 内部評価の要件

以下の表は、「個人と社会」の各科目に求められる課題の種類をまとめたものです。

科目とレベル	課題の種類	課題の形式
「ビジネスと経営」 (HL)	調査提案と行動計画（500 語〔日本語の場合は 1000 字〕以内）、およびレポート（2000 語〔日本語の場合は 2000 字〕以内）で構成された調査プロジェクト。調査プロジェクトでは、ある組織が直面している問題を扱うか、ある組織（または複数の組織）が下すべき決定を分析する。	調査プロジェクト
「ビジネスと経営」 (SL)	記述によるコメントリー（1500 語〔日本語の場合は 3000 字〕以内）。ある特定の組織が直面している実際の課題または問題に関する 3～5 種類の参考資料に基づく。	記述による コメントリー
「経済」(SL・HL)	3つのコメントリーのポートフォリオ（各コメントリーは、それぞれ 750 語〔日本語の場合は 1500 字〕を超えてはならない）。	ポートフォリオおよび 3/CSE フォーム
「地理」(SL・HL)	シラバスのテーマに基づく、2500 語（日本語の場合は 5000 字）のフィールドワークレポート	フィールドワーク
「グローバル政治」 (HL) HL 発展学習	個人口述分析。HL 発展学習における異なるトピック 2 つから 2 つのケーススタディーについて。	10 分間のビデオ プレゼンテーション 2 部

科目とレベル	課題の種類	課題の形式
「グローバル政治」 (SL・HL)	個々に従事した活動を通じて探求した政治的な問題に関する 2000 語（日本語の場合は 4000 字）以内のレポート	従事した活動についてのレポート
「歴史」(SL・HL)	歴史に関する探究（2200 語〔日本語の場合は 4400 字〕以内）	記述課題
「グローバル社会の情報技術」(SL・HL)	プロジェクト：カバーページ、成果物、スクリーンキャスト、および 2000 語（日本語の場合は 4000 字）以内の文書を含む ZIP ファイル（最大サイズ 750MB）	プロジェクト
「哲学」(SL・HL)	非哲学的な資料の哲学的な分析（2000 語〔日本語の場合は 4000 字〕以内）	哲学的な分析
「心理学」(HL)	1500 ～ 2000 語（日本語の場合は 3000 ～ 4000 字）の実証的研究	実証的研究
「心理学」(SL)	1000 ～ 1500 語（日本語の場合は 2000 ～ 3000 字）の実証的研究	実証的研究
「社会・文化人類学」 (HL)	2000 語（日本語の場合は 4000 字）以内の現地調査レポート	フィールドワーク
「社会・文化人類学」 (SL)	2 つの活動： 1 時間の観察とそれに続く 600 ～ 700 語（日本語の場合は 1200 ～ 1400 字）のレポート作成 最初のレポートの批評（700 ～ 800 語〔日本語の場合は 1400 ～ 1600 字〕）	観察および批評
「世界の宗教」(SL)	信奉者のグループまたは個人（あるいはその両方）による宗教的な体験、実践、または信念のある 1 つの側面についての調査研究（1500 ～ 1800 語〔日本語の場合は 3000 ～ 3600 字〕）	分析レポート

### C3.3 「ビジネスと経営」(SL・HL)

各試験セッションでは HL および SL の試験問題 1 に異なるケーススタディーを使用します。試験セッションの 3 カ月前に、学校は IBIS 上、およびプログラムリソースセンターにおいて記述試験で用いるケーススタディーのコピーが利用できるようになります。

5 月の試験セッション用のケーススタディーは 2 月の第 1 週に発表されます。11 月の試験セッション用のケーススタディーは 8 月の第 1 週に発表されます。

## もっと詳しく

例えば、学校は 2018 年 2 月に、2018 年 5 月の試験セッションで使用されるケーススタディーズにアクセスできるようになり、2018 年 8 月には 2018 年 11 月の試験セッションで使用されるケーススタディーズにアクセスできるようになります。

試験問題 1 用ケーススタディーの書き込みのされていないコピーを志願者に提供するの学校の責任です。

## C3.4 「経済」

### C3.4.1 内部評価

経済の内部評価要素には、従来使用されていたコメンタリー・カバーシート、およびサマリー・ポートフォリオ・カバーシートに代わり、3/CSE フォームを添付する必要があります。「評価用フォーム」を参照してください。

## C3.5 「グローバル政治」

### C3.5.1 内部評価

SL および HL では、生徒は従事した活動を通じて個人的に興味を持った政治問題を経験的に探究します。そこで当該の問題の調査および評価を含む 2000 語（日本語の場合は 4000 字）の分析レポートを執筆します。

HL では、生徒はさらに発展的な課題を実施する必要があります。生徒は調査し、それぞれ 10 分間の口述プレゼンテーションを 2 件行います。これらのプレゼンテーションの中で、生徒は深く調査した 2 つのグローバルな課題のケーススタディーを分析しなければなりません。これらのプレゼンテーションはビデオ録画されます。志願者それぞれが 3/CSGP/HX の記入を必ず完了しなければなりません。

モデレーション用サンプルが必要になります。詳細は C3.2.1 を参照してください。

## C3.6 「グローバル社会の情報技術」(ITGS)

### C3.6.1 プロジェクト

#### 学校レベル

学校は各志願者ごとに、ITGS プロジェクトが含まれる ZIP ファイルをアップロードする必要があります(詳細は、IB 資料(英語版)『Information technology in a global society teacher support material (「グローバル社会の情報技術」教師用参考資料)』を参照してください)。

ZIP ファイル名および各ページのフッターには志願者の苗字を含めることが強く推奨されています。ファイル名には学校番号、または志願者の名前(ファーストネーム)を含めてはなりません。

#### 志願者レベル

各志願者は自身のプロジェクトを ZIP ファイルにして提出することが期待されています。

各プロジェクトは必ず以下の要素を含まなければなりません。

- カバーページ htm (Forms.zip に含まれる htm 形式のウェブページで、プログラムリソースセンターからダウンロードできます)。
- 書類 (Forms.zip に含まれているフォルダー)
- プロジェクト (Forms.zip に含まれているフォルダー)
- スクリーンキャスト

担当教師は ZIP ファイル内の追加書類として採点の根拠を提供することが望ましいです。この情報はモデレーションのプロセスに役立てられます。

スクリーンキャストは ZIP ファイルのトップレベルのフォルダーに保存してください。

### C3.6.2 ケーススタディ (HL)

5月にカーディフにある IB グローバルセンターのアセスメント部門が翌年の記述試験に用いられる HL 試験問題 3 用のケーススタディーのコピーを発表します。これはプログラムリソースセンター上、および IBIS 上で発表されます。

#### もっと詳しく

例えば、2017年5月以降、学校は2018年の5月と11月の試験で使用されるケーススタディーにアクセスが出来るようになっています。

志願者に HL 試験問題 3 のケーススタディーの書き込みのないコピーを提供するのは学校の責任です。

## C3.7 提出期限一覧：2018年5月と11月の試験セッション

コースワークはすべて、IBIS eCoursework システム経由で提出します。コーディネーターおよび教師は提出時に必要となるフォームの詳細について、「評価用フォーム」を参照してください。

提出日については、「評価に関する重要日程」を参照してください。

セッション	行動	方法／フォーム	提出期限
2018年5月／ 2018年11月	志願者の予測スコアと内部評価の採点結果の提出	IBIS 経由	2018年4月20日／ 2018年10月20日
2018年5月／ 2018年11月	内部評価用学習成果物のサンプルを提出	IBIS eCoursework へアップロード	2018年4月20日／ 2018年10月20日

## C4 「理科」

### 概要

本項には「理科」の科目 — 「生物」、「化学」、「コンピューター科学」、「デザイン技術」、「物理」、および「スポーツ・エクササイズ・健康科学」についての情報が含まれます。ESS に関する情報は、セクション C10a に記載されています。

### C4.1 参考資料

本項で提供される情報は、適切な科目の「指導の手引き」と併せて読む必要があります。

2018年5月と11月の試験セッション	
資料名	発行日
IB 資料『「生物」指導の手引き』	2014年2月発行、2015年8月更新改訂
IB 資料『「化学」指導の手引き』	2014年2月発行、2015年2月更新改訂
IB 資料（英語版）『Computer science guide（「コンピューター科学」指導の手引き）』	2012年1月発行、2016年3月更新改訂
IB 資料（英語版）『Design technology guide（「デザイン技術」指導の手引き）』	2014年3月
「環境システムと社会」ウェブサイト	2015年5月
IB 資料『「物理」指導の手引き』	2014年2月
IB 資料（英語版）『Sports, exercise and health science guide（「スポーツ・エクササイズ・健康科学」指導の手引き）』	2016年1月発行、2016年5月に更新改訂

### C4.2 内部評価の要件 — 「生物」、「化学」、「物理」、および「スポーツ・エクササイズ・健康科学」

内部評価の要件は、「生物」、「化学」、「物理」、および「スポーツ・エクササイズ・健康科学」共通です。内部評価は、最終評価の20%に相当し、約10時間相当の科学研究と、約6～12ページから成る記事から構成されます。この長さを超える研究は、簡潔さに欠けるものとして、評価規準の「コミュニケーション」の項目において減点される可能性があります。「個人研究」では、コースのレベルに見合ったトピックを扱うようにしてください。

内部評価課題の評価規準は一般的なものであるため、個別研究では「生物」、「化学」、「物理」、および「スポーツ・エクササイズ・健康科学」の多様なニーズを満たす幅広い実習活動を取り入れることが可能です。

内部評価は、共通の評価規準に照らし合わせて採点され、SL、HL 共に 24 点満点です。より詳細な情報は当該科目の「指導の手引き」を参照してください。

## C4.2.1 コースの実習の要件

実践の要件の詳細は、当該科目の「指導の手引き」に記載されています。

## C4.2.2 内部評価関連の記録

### 個々の志願者のカバーシート

「個々の志願者のカバーシート」(4/ICCS フォーム) は、サンプルに選ばれた志願者だけでなく、すべての志願者について記入する必要があります。これには「理科プロジェクト」への取り組みについての志願者本人による説明が含まれます。

### 「理科」の科目を 2 つ (または 3 つ) 履修する志願者

「理科」の科目を 2 つ以上履修する志願者は、「理科プロジェクト」の「行動」の段階を 2 つ行う必要はありません。これらの志願者は、「理科プロジェクト」に取り組む他のすべての志願者と同じ学習を行います。志願者は、すべての 4/ICCS フォームに同様の志願者誓約を提出してください。

### 実習を伴う学習活動 (PSOW)

「実習を伴う学習活動」(PSOW : practical scheme of work) では、実習のカリキュラムを教師が計画します。これは、クラスが取り組む研究活動すべてのまとめとして位置づけられます。詳細はフォーム 4/PSOW に記録します。それぞれのクラスとレベルについて、4/PSOW フォームを 1 部ずつ作成します。1 つのクラスに SL と HL の両方のレベルの志願者がいる場合は、4/PSOW フォームを各レベルで 1 部ずつの計 2 部記入しなければなりません。

これらの 4/PSOW フォームは評価用には提出しませんが、成績発表後まで学校に保管されます。これらは 5 年毎の学校評価プロセスの際に提出を求められる場合があります。

### 評価：

教師は、各科目の「指導の手引き」の内部評価に関するセクションの評価規準を用いて学習成果物を評価し、試験官がそのモデレーションを行います。

## C4.2.3 モデレーションのサンプル

教師は、内部評価に関する一般的な情報について、B3.8の項を必ず読んでください。モデレーションのためのサンプルは、IBISが特定したものでなければなりません。

### モデレーション用のサンプル学習成果物の送付

教師はモデレーション用サンプルとなる学習成果物のセットをアップロードする必要があります。試験官は、学校間で同等の基準が満たされていることを確認するためにこの学習成果物のモデレーションを行います。

適正化が必要と認められた学校には、評価規準に照らし合わせた評価に関する調査の結果、そしてIBの外部評価規準に学校の評価がどの程度合致していたかについて、フィードバックがなされます。

サンプルの各志願者については、以下の資料を必ずアップロードしてください。

- 記入済みの4/ICCSフォーム
- 個人研究

### 内部評価の最終的な採点結果

IBISの「内部評価」の項目に、最終的な得点（24点満点）を記録します。

## C4.3 内部評価の要件 — 「コンピューター科学」

コンピューター科学の内部評価のモデルは、志願者が開発した計算解で構成されます。各志願者はまた、「理科プロジェクト」に参加しなければなりません。SL・HLともに各志願者は、計算解に30時間、「理科プロジェクト」に10時間を費やすことが期待されています。

HLの志願者にとって、内部評価は合計得点の20%を占めます。SLの志願者にとっては合計得点の30%です。

SLとHLの両方で、内部評価の最終得点は34点満点です。SLとHLを組み合わせたサンプルのセットは、IBによる外部モデレーション用にアップロードされます。

### C4.3.1 ケーススタディ（HL）

5月にカーディフにあるIBグローバルセンターのアセスメント部門が翌年の記述試験に用いられるHL試験問題3用のケーススタディーのコピーを発表します。これはプログラムリソースセンター上、およびIBIS上で発表されます。

## もっと詳しく

例えば、2017年5月以降、学校は2018年の5月と11月の試験で使用されるケーススタディーにアクセスが出来るようになっていきます。

志願者に HL 試験問題 3 のケーススタディーの書き込みのないコピーを提供するのは学校の責任です。

## C4.3.2 内部評価関連の記録

### 個々の志願者のカバーシート

個々の志願者のカバーシート（4/ICCS フォーム）は、サンプルに選ばれた志願者だけでなく、すべての志願者について記入する必要があります。これには「理科プロジェクト」への取り組みについての志願者本人による説明が含まれます。

### 評価：

教師は、各科目の「指導の手引き」の内部評価に関するセクションの評価規準を用いて学習成果物を評価し、試験官がそのモデレーションを行います。

### 「理科」の科目を2つ（または3つ）履修する志願者

「理科」の科目を2つ以上履修する志願者は、「理科プロジェクト」の「行動」の段階を2つ行う必要はありません。これらの志願者は、「理科プロジェクト」に取り組む他のすべての志願者と同じ学習を行います。志願者は、すべての4/ICCS フォームに同様の志願者誓約を提出してください。

## B4.3.3 モデレーション用サンプル

教師は、内部評価に関する一般的な情報について、B3の項を必ず読んでください。モデレーションのためのサンプルは、IBISが特定したものでなければなりません。

### モデレーション用のサンプル学習成果物の送付

教師はモデレーション用サンプルとなる学習成果物のセットをアップロードする必要があります。試験官は、学校間で同等の基準が満たされていることを確認するためにこの学習成果物のモデレーションを行います。

モデレーションが必要と認められた学校には、評価規準に照らし合わせた評価に関する調査の結果、そしてIBの外部評価規準に学校の評価がどの程度合致していたかについて、フィードバックがなされます。

各志願者は自身のプロジェクトを ZIP ファイルにして提出することが期待されています。テンプレート、Forms.zip は IB 資料（英語版）『Computer science teacher support material（「コンピューター科学」教師用参考資料）』で入手可能です。サンプルセットに選ばれた ZIP ファイルを必ずアップロードしなければなりません。各志願者の ZIP ファイルのトップレベルには以下を含めてください。

- HTML 形式のカバーページ
- 最終成果物を含む「成果物」フォルダー
- 関連する記録を含む「記録」フォルダー
- 成果物の機能を示すスクリーンキャスト
- 各志願者について、教師は、トップレベルのフォルダーに、その得点を与えた説明を PDF ファイルとして加えることが推奨されます。
- 記入済みのフォーム 4/ICCS も必ずアップロードしなければなりません。このフォームは ZIP ファイルには決して**入れない**でください。

試験官は、教師が評価したレベルをチェックするために、この学習成果物のモデレーションを行います。学校は必ずコピーを一部保管してください。

## 内部評価の最終的な採点結果

IBIS の「内部評価」の項目に、最終的な得点（34 点満点）を記録します。

### C4.4 内部評価の要件 — 「デザイン技術」

内部評価の要件は、最終評価の 40% に相当し、1 つのデザインプロジェクトで構成されます。内部評価は SL、HL 共通の 4 つの評価規準に照らし合わせて採点されます。HL では、追加で 2 つの評価規準が適用されます。4 つの共通の評価規準に基づく SL および HL の到達目標レベルは同じです。

#### もっと詳しく

SL と HL の 4 つの共通の評価規準は以下の通りです。

- 規準 A：デザインの機会の分析
- 規準 B：コンセプトデザイン
- 規準 C：詳細なデザインの開発
- 規準 D：テストおよび評価

HL では、さらに以下 2 つの評価規準が適用されます。

- 規準 E：商業生産
- 規準 F：マーケティング戦略

SL は 36 点満点です。HL は 54 点満点です。

SL では、デザインプロジェクトは約 40 時間で完了させてください。HL では約 60 時間で完了させてください。それぞれの評価規準について、約 10 時間で取り組んでください。

SL の最大ページ数は A4 で 38 ページ（またはそれに相当する分量）です。HL の最大ページ数は A4 で 50 ページ（またはそれに相当する分量）です。この制限を超過した学習成果物のページについては、教師は得点を与えないでください。モデレーション用のサンプルとして選択された場合、試験官は、この制限枚数でデザインプロジェクトを読むのを中止します。

学校で SL と HL の両方のレベルが履修されている場合は、両方のレベルで外部的なモデレーションを行うために、別々のサンプルのセットを提出する必要があります。

## C4.4.1 コースの実習の要件

実習の要件の詳細は、IB 資料（英語版）『Design technology guide（「デザイン技術」指導の手引き）』に記載されています。

## C4.4.2 内部評価関連の記録

### 個々の志願者のカバーシート

個々の志願者のカバーシート（4/ICCSDT フォーム）は、サンプルに選ばれた志願者だけでなく、すべての志願者について記入する必要があります。これには「理科プロジェクト」への取り組みについての志願者本人による説明が含まれます。

### 実習を伴う学習活動（PSOW）

PSOW では、実習のカリキュラムを教師が計画します。また PSOW は、教師が指示しクラスが取り組む活動すべてのまとめとしても位置づけられます。詳細は 4/PSOWDT フォームに記録します。それぞれのクラスとレベルについて、4/PSOWDT フォームを 1 部ずつ作成します。1 つのクラスに SL と HL の両方のレベルの志願者がいる場合は、4/PSOWDT フォームを各レベルで 1 部ずつ、計 2 部記入しなければなりません。

これらの 4/PSOWDT フォームは内部評価用には提出しませんが、成績発表後まで学校に保管されます。これらは 5 年毎の学校評価プロセスの際に提出を求められる場合があります。

### 評価：

教師は、各科目の「指導の手引き」の内部評価に関するセクションの評価規準を用いて学習成果物を評価し、試験官がそのモデレーションを行います。

## 「理科」の科目を2つ（または3つ）履修する志願者

「理科」の科目を2つ以上履修する志願者は、「理科プロジェクト」の「行動」の段階を2つ行う必要はありません。これらの志願者は、「理科プロジェクト」に取り組む他のすべての志願者と同じ学習を行います。志願者は、すべての4/ICCSDT フォームで同様の志願者誓約を提出する必要があります。

### C4.4.3 モデレーションのサンプル

教師は、モデレーションに関する一般的な情報について、B3.8の項を必ず読んでください。モデレーションのためのサンプルは、IBISが特定したものでなければなりません。

IBISによって選ばれたサンプルの各志願者については、以下の資料をアップロードしてください。

- デザインプロジェクト
- 記入済みの4/ICCSDT フォーム
- オプションとして採点事由を述べた教師のコメント（A4ポートレートまたはそれと同等のもの）

## 内部評価の最終的な採点結果

IBISの内部評価の選択項目に、最終的な得点（SLで36点満点、HLで54点満点）を記録します。

## C4.5 コーディネーターの要件の概要

以下は、コーディネーターが、「理科」の教師から提供を受ける必要があるものの概要です。

学内の締切日までに必要な資料	
「生物」、「化学」、「物理」、「スポーツ・エクササイズ・健康科学」 (SL・HL 共通)	<b>IBISを通じて提出するもの</b> <ul style="list-style-type: none"><li>• 各志願者の予測スコアと内部評価の採点結果</li><li>• IBISによって選ばれたサンプル候補者の評価基準に照らした採点結果</li></ul> <b>アップロードするもの</b> <ul style="list-style-type: none"><li>• サンプルの各志願者ごとに4/ICCS フォーム</li><li>• サンプルの各志願者について、教師による採点済みの個人研究</li></ul>

学内の締切日までに必要な資料	
コンピューター科学 (SL・HL 共通)	<p><b>IBISを通じてカーディフにあるIBグローバルセンターのアセスメント部門に提出するもの</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各志願者の予測スコアと内部評価の採点結果</li> <li>IBISによって選ばれたサンプル候補者の評価基準に照らした採点結果</li> </ul> <p><b>アップロードするもの</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>サンプルの各志願者ごとに 4/ICCS フォーム</li> <li>サンプルの各志願者ごとの関連ファイルと記録のすべてを含めた ZIP ファイル</li> </ul>
デザイン技術 SL デザイン技術 HL (SL と HL で別個のサンプル)	<p><b>IBISを通じてカーディフにあるIBグローバルセンターのアセスメント部門に提出するもの</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各志願者の予測スコアと内部評価の採点結果</li> <li>IBISによって選ばれたサンプル候補者の評価基準に照らした採点結果</li> </ul> <p><b>アップロードするもの</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>サンプルの各志願者ごとに 4/ICCSDT フォーム</li> <li>サンプルの各志願者ごとに、教師による採点済みのデザインプロジェクト</li> </ul>

## C4.6 試験の資材

コーディネーターは、IBIS、およびプログラムリソースセンターで、IB 資料『物理資料集』、IB 資料『化学資料集』、ケーススタディー、および「コンピューター科学」用の IB 資料（英語版）『Approved notation for developing pseudocode（擬似コード開発のための承認された表記法）』の冊子を手に入れます。これらが試験の問題用紙と共にハードコピーで送付されることはありません。志願者には、試験において関連する小冊子の、書き込みのされていないコピーを提供しなければなりません。

### もっと詳しく

- 「物理」の志願者は、試験問題 1、2、3 のために IB 資料『物理資料集』が必要です。
- 「化学」の志願者は試験問題 2 と 3 のみに IB 資料『化学資料集』を必要とします。
- 「コンピューター科学」の志願者は、試験問題 1 と 2 で IB 資料（英語版）『Approved notation for developing pseudocode（擬似コード開発のための承認された表記法）』と、HL の試験問題 3 で事例研究が必要です。

## C4.7 提出期限：2018年5月と11月の試験セッション

コースワークはすべて、IBIS eCoursework システム経由で提出します。コーディネーターおよび教師は提出時に必要となるフォームの詳細について、「評価用フォーム」を参照してください。

提出日については、「評価に関する重要日程」を参照してください。

セッション	行動	提出先	方法／フォーム	提出期限
2018年5月／ 2018年11月	志願者の予測スコアと内部評価の採点結果の提出	IB グローバルセンター、アセスメント部門、カーディフ	IBIS 経由	2018年4月20日／ 2018年10月20日
2018年5月／ 2018年11月	内部評価用学習成果物のサンプル提出：「生物」、「化学」、「物理」および「スポーツ・エクササイズ・健康科学」	IB グローバルセンター、アセスメント部門、カーディフ	IBIS eCoursework へアップロード 4/ICCS フォーム	2018年4月20日／ 2018年10月20日
2018年5月／ 2018年11月	内部評価用学習成果物のサンプル提出：「デザイン技術」	IB グローバルセンター、アセスメント部門、カーディフ	IBIS eCoursework へアップロード 4/ICCSDT フォーム	2018年4月20日／ 2018年10月20日
2018年5月／ 2018年11月	内部評価用学習成果物のサンプル提出：「コンピューター科学」	IB グローバルセンター、アセスメント部門、カーディフ	IBIS eCoursework へアップロード 4/ICCS フォーム	2018年4月20日／ 2018年10月20日

## C7 「課題論文」(EE)

### 概要

このセクションでは EE の要件について述べます。

EE ウェブサイト (2018 年第 1 回評価用) が完全に適用可能となりました。旧基準 (A ~ K) に基づき提出された EE は、例外なく新基準 (A ~ E) に基づき採点されます。これは前回の 11 月または 5 月の試験から半年または 1 年後の再試験の志願者にも適用されます。「計画および進捗についての振り返りフォーム」(EE/RPPF) は今や必須となり、明示的な評価要素の一つです。EE/RPPF を提出しなかった場合、規準 E は結果的に 0 点となります。

さらなる詳細は、EE ウェブサイトを参照してください。

### C7.1 参考資料

本項で提供される情報は、EE ウェブサイトおよび IB 資料 (英語版) 『DP Coordinator's notes (DP コーディネーターズ・ノート)』と併せて読む必要があります。

2018 年 5 月と 11 月の試験セッション	
資料名	発行日
EE ウェブサイト (2018 年 5 月第 1 回試験用)	2016 年 2 月

### C7.2 提出期限一覧：2018年5月と11月の試験セッション

コースワークはすべて、IBIS eCoursework システム経由で提出します。コーディネーターおよび教師は提出時に必要となるフォームの詳細について、「評価用フォーム」を参照してください。

提出日については、「評価に関する重要日程」を参照してください。

セッション	行動	方法/フォーム	提出期限
2018年5月/11月	評価用に EE を提出	EE/RPPF と共に IBIS eCoursework へアップロード	2018年3月15日/ 2018年9月15日
2018年5月/11月	予測スコアを提出	IBIS 経由	2018年4月20日/ 2018年10月20日

## C7.3 規則 — 2018年5月および11月試験セッション

2018年5月と11月の試験セッションでは、以下の規則が適用されます。

- 前回の試験セッションからの再試験の志願者が2018年の5月のEEを提出する場合、2018年5月の規準に照らし評価され、必ずEE/RPPFを含めなければなりません。同フォームを提出しなかった場合、基準Eの採点は結果的に0点となります。2017年の5月または11月の受験者から再試験の申請があった場合、学校は2018年5月の要件に照らし合わせて慎重に検討する必要があります。まったく異なる科目での半年または1年後の再試験を許可する場合、学校は正しい手順が守れるのか、志願者に不利にならないかを必ず確認してください。登録の変更は可能ですが、2018年5月の要件に照らし合わせて志願者のサポートを行うかどうかは学校の判断に任されます。
- ディプロマ、コース、または再試験のカテゴリーで登録した志願者のみが、EEを提出できます。
- EEの成績の改善を望む12カ月および6カ月の再試験の志願者は、2018年5月の規準に合わせて修正した、または新たに書き下ろしたEEを提出できます。
- ディプロマ資格取得志願者の登録が、EEの要件で「履修取り消し」(withdrawn)に変更された場合は、同志願者が他の科目の履修を取り消されたかどうかにかかわらず、登録カテゴリーがディプロマからコースに変更されます。
- EEについて登録されていない科目や言語で提出された、評価用のEEは、評価されない場合があります。
- 志願者の親類が指導教員の役割を引き受けることは認められていません。
- 例外的な状況では、志願者が学外の専門家から指導を受けるかもしれませんが（例えば、「理科」や「言語」で）、いかなる場合も、志願者は、その学校の教師で、その志願者を担当する指導教員がつかなければなりません。この学校の指導教員は、EEの執筆について一般的なアドバイスを与えることが可能でなければならず、また、志願者の成果物が、本当に生徒本人が取り組んだものであることを必ず確認しなければなりません。
- 当該試験セッションでは利用不可能な科目のために準備されたEEは、書き直し、利用可能な科目の1つで提出される必要があります。コーディネーターが、指導監督者と志願者のために、各試験セッションで利用可能な科目のリストを作成することがきわめて重要です。
- EEまたはTOK（あるいはその両方）の成績がEである場合は、ディプロマ資格は授与されません。ディプロマ資格を得るには、これらの要件の両方で少なくとも「D」の評価を受ける必要があります。
- EEの採点および再採点は本来登録された科目においてのみ可能です。科目を変更するには、将来のセッションにおいてEEが再び提出（変更点の有無を問わず）されなければなりません。IBは、EEに関する規則について例外を設けることは出来ませんのでご注意ください。
- コーディネーターか管理者がアップロードし、承認したEEのファイルは、評価用の最終版であると見なされ、これに例外はありません。

## C7.4 利用できる科目

EE に利用できる科目は、5 月と 11 月の試験セッションで同じではありませんのでご注意ください。EE を提出するいかなる志願者についても、コーディネーターは当該試験セッションでその科目が利用可能であることを必ず確認しなければなりません。6 カ月の再試験志願者は、再試験のセッションで提供されている科目においてのみ EE を再提出することが出来ます。当該科目が利用できない場合は、通常の期日までに利用可能な科目について EE を改めて執筆しなければなりません。

研究課題の提案の登録科目や、研究課題自体の適切度提案については、これが EE の評価要素の一つであることから、IB はアドバイスを行いません。他のユーザーへの相談は EE フォーラムで行ってください。

### C7.4.1 言語と文学研究

「言語と文学」科目の EE は、最も得意とする言語が、EE に選択した「言語 A」である志願者向きです。

志願者が「言語と文学」科目の EE を選択する場合は、関係する試験セッションの利用可能な「言語 A：文学」または「言語 A：言語と文学」のリストから選ばなければなりません。学校が記述試験の 18 カ月前に「言語 A：文学」の科目に対して特別申請を提出し、これが指導科目として認定された場合、その学校の志願者は、その「言語 A」の EE を、「言語と文学」の EE として登録することが自動的に認められます。そのため、IBIS を通じて「課題論文」(EE) の特別申請フォーム」を別途提出する必要はありません。

学校が特別申請を提出していない「言語 A：文学」の科目の EE の提出を希望する志願者が学校にいる場合は、IBIS を通じて、**Subject** タブから **Advance notice requirements** (事前通知要件) を開いて適切なフォームを提出することが必要です。カーディフにある IB グローバルセンター、アセスメント部門は、この記入されたフォームを受け取り次第、「言語と文学」の当該言語で EE を提出できるかどうかを決定します。この決定は、その言語について別の学校から特別申請がなされているかどうか、またその言語を担当する試験官が EE の採点が可能であるかどうかに基づいて下されます。IB は、志願者が特別申請言語で EE を提出できるかを保証できません。そのため、志願者は、EE の代替の科目を検討することが奨励されています。

### C7.4.2 言語の習得

「言語の習得」の言語の EE は、第二言語または付加言語の学習者向きです。志願者が、自分が選んだ「言語と文学」の科目の「言語 A」で、「言語の習得」の EE を提出することは認められません。志願者は、EE がどのカテゴリー (カテゴリー 1、カテゴリー 2、またはカテゴリー 3) に関するものかをカバーシートに示さなければなりません。

「言語の習得」の EE で使用可能な言語のリストは、5月と11月の試験セッションで使用可能な「言語 B」および「初級外国語」(ab initio) を合わせたリストと一致します。「言語の習得」の言語には、特別申請のサービスはありません。志願者は「言語 A」で受講している科目で、「言語の習得」の EE を提出することは認められません。ただし、これは古典ギリシャ語およびラテン語での提出には適用されません。

5月または11月の試験セッション用に、試験での使用言語として、英語またはスペイン語の中で古典ギリシャ語または古典ラテン語を使うことは可能です。志願者が、古典ギリシャ語またはラテン語についての EE をフランス語で執筆したいと希望する場合は、コーディネーターは筆記試験の18カ月前にあたる**11月15日または5月15日**までに、IB から許可を得なければなりません。これを特別申請として提出するオプションが、IBIS で利用可能です。

### C7.4.3 その他の教科

以下の表に掲載されたすべての科目については、2018年の試験セッションで、英語、フランス語、スペイン語で EE を執筆することができます。「生物」と「歴史」は、英語、フランス語、スペイン語またはドイツ語で書くことができます。

「生物」	「文学とパフォーマンス」
「ビジネスと経営」	「数学」
「化学」	「音楽」
「コンピューター科学」	「哲学」
「ダンス」	「物理」
「デザイン技術」	「心理学」
「経済」	「社会・文化人類学」
「環境システムと社会」	「スポーツ・エクササイズ・健康科学」
「映画」	「演劇」
「地理」	「美術」
「グローバル政治」	「世界の宗教」
「歴史」	「ワールドスタディーズ」
「グローバル社会の情報技術」(ITGS)	

### C7.4.4 「ワールドスタディーズ」

「ワールドスタディーズ」は、英語、フランス語、スペイン語の EE の科目として利用可能です。志願者を「ワールドスタディーズ」の EE に登録する場合は、志願者が選んだグローバルなテーマを示してください。テーマは以下のとおりです。

- 科学、技術、社会
- 文化、言語、アイデンティティ
- 紛争、平和、安全
- 平等と不平等
- 健康と発達
- 環境または経済の持続性（もしくはその両方）

テーマに関する詳細は EE のウェブサイトに記載されています。

## C7.4.5 科目の変更

それぞれの EE が正しい科目に対して提出されるように確認するのは学校の責任です。登録科目と実際に EE を書く科目が異なる場合、コーディネーターは必ず IB に照会し、EE が登録されている科目の変更を要請しなければなりません。登録科目の変更が承認され、IBIS eCoursework のアップロード画面が更新されるまで、志願者の EE をアップロードしてはなりません。これを守れなかった場合、EE は当初の登録科目として評価される結果となります。

## C7.5 アップロード用の EE/RPPF を完成させる

EE はすべて、必須である記入済みの EE/RPPF と共に提出されなければなりません。当該フォームが提出されない場合、志願者は規準 E について 0 点を付与されます。

試験官は、500 語（日本語の場合は 1000 字）を超えたところで EE/RPPF を読むことを止めます。500 語（日本語の場合は 1000 字）を超えた後の記述はいかなるものも、基準 E に照らし評価されることはありません。

EE/RPPF は、必ず EE と同じ言語で評価および記入されなければなりません。これには「言語と文学」および「言語の習得」の EE 用のすべての言語が含まれます。例えば、フランス語で登録された「歴史」の EE の EE/RPPF はフランス語で書かれる必要があります。

EE/RPPF の記入に関する詳細は EE ウェブサイトを参照してください。EE の提出に関する情報は C7.5.1 の項を参照してください。

### C7.5.1 2018 年の EE のアップロード

すべての学校は EE をアップロードする必要があります。試験官に EE のハードコピーを送付することはできません。

2018 年 5 月以降、EE はそれぞれカバーシートに代わり、EE/RPPF の添付が必要となります。指導教員またはコーディネーターはさらに学習成果物が志願者本人が取り組んだものであることを確認し、アップロード時点で各志願者に費やした時間数を記入する必要があります。

「言語と文学」と「言語の習得」の EE については、アップロードの時点でシステムが志願者またはコーディネーターに、志願者が従事した学習のカテゴリー（例えば「言語の習得」、カテゴリー 2 (b)、「言語と文学」、カテゴリー 3）を指定するよう促す仕様になっています。

アップロードの手続きと学習成果物の匿名化に関する詳細は、**IBIS ライブラリ** > **ユーザーガイド** > **e-Coursework** に提示されている文書に記載されています。

コーディネーターは、指導教員および志願者に推奨されるフォーマットのガイドラインを伝えることが求められます。

電子ファイル形式の EE を受け取ることで、試験官は 4000 語（日本語の場合は 8000 字）に達した場所を把握し、それ以降を評価しないことが容易になります。志願者は語数（字数）制限を超えるか、脚注を（参照以外の目的で）誤って使用することにより語数（字数）超過を回避した場合の罰則について必ず覚えておく必要があります。語数（字数）は必ず EE の表紙に明示してください。

## C7.6 予測スコアの提出

コーディネーターは、各志願者の EE の予測スコアを提出する必要があります。これらのスコアは、筆記試験の約 3 週間前の **4 月 20 日または 10 月 20 日**までに、IBIS 上に入力しなければなりません。EE では、A から E の段階評価（A が最高点）です。評価規準は EE のウェブサイトに記載されています。学校は、評価規準の説明の内容に基づいて予測スコアを決定し、2018 年 5 月のセッション終了段階で決定される成績換算表に基づいて行ってはなりません。詳しくは、EE のウェブサイトの「EE の成績評価の規準」のページを参照してください。

EE は外部評価のため、必ず書き込みのないコピーをアップロードしてください。また、指導教員は IB に注釈付きの EE をアップロードしてはなりません。学校は IBIS にアップロードされた EE が変更箇所の表示のない、最終版であることを気を付けて確認してください。アップロードされたバージョンが EE の評価の最終版であるとみなされます。

## C8 「知の理論」(TOK)

### 概要

本項ではコア構成要素である TOK の要件について記します。

### C8.1 参考資料

本項で提供される情報は、以下の資料と併せて読む必要があります。

2018年5月と11月の試験セッション	
資料名	発行日
『「知の理論」(TOK) 指導の手引き』	2013年4月発行、2015年8月に更新改訂

### C8.2 TOKの使用言語

5月と11月の試験セッションにおける TOK の志願者は、使用言語として以下の言語が利用できます。

- 英語
- スペイン語
- フランス語
- ドイツ語
- 中国語（繁体中国語および簡体中国語）

日本語は11月のセッションのみ TOK の使用言語として利用できます。

プレゼンテーションおよびエッセイは必ず使用言語で完成させなければなりません。

### C8.3 内部評価プレゼンテーション

教師は、IB 資料『「知の理論」(TOK) 指導の手引き』の評価規準に従って、各プレゼンテーションを評価しなければなりません。評価規準のコピーを志願者が入手できるようにしてください。評価は、完了した学習成果物に基づいて行われなければなりません。学習成果物や参加の状況が不完全であっても、採点は行われなければなりません。

## C8.3.1 内部評価の要件

各志願者は、コースの間に、個人または少数（最大3人）グループで、クラスに対する口述プレゼンテーションを行わなければなりません。許可された所要時間は一人当たり約10分間で、グループの場合は最長で約30分間となります。プレゼンテーションを行う前に、各志願者は、プレゼンテーション計画書（TK/PPD）の志願者のセクションに記入しなければなりません。グループプレゼンテーションの場合、各志願者は、同一のTK/PPDのコピーを提出する必要があります。グループプレゼンテーションの場合、同じグループの志願者は必ず同じ成績を与えなければなりません。TK/PPDは骨子または箇条書きの形式にまとめ、500語以内（日本語の場合は1000字以内）に収めます。

## C8.3.2 プレゼンテーション計画書（TK/PPD）

プレゼンテーションは、TK/PPDをガイドとして使用し、TOKの教師によって評価されます。すべての学校は、**4月20日または10月20日**までにIBISでTK/PPDのサンプルを提出しなければなりません。

## C8.3.3 プレゼンテーションの採点結果の提出

**4月20日または10月20日**までに、各志願者のプレゼンテーションについて教師による総合点を必ずIBISに入力しなければなりません。

志願者が、TOKのプレゼンテーションを行うことができなかった場合は、採点結果を「F」とします。

教師またはコーディネーターが志願者の内部評価の採点結果をIBISに入力すると、システムはモデレーションのサンプルを形成する志願者のリストを生成します。教師またはコーディネーターはシステムに各志願者の内部評価の採点と基準点を入力する必要があります。TOKのプレゼンテーションにおいては、採点は総合的印象評価（global impression marking）に基づくため、評価規準はありません。IBISのCriteria marks total（基準点合計）に内部評価の採点と同じ10点満点の点数を必ず入力してください。既にTK/PPDに記載されていることから、採点に関するコメントは必要ありません。

教師が、特定の志願者についてIBISに入力する採点と、その志願者のTK/PPDに記入された得点とが同一であることを確認することが非常に重要です。

## C8.3.4 内部評価のモデレーション

教師によるプレゼンテーションの採点結果は、モデレーションの対象となります。モデレーションは、関連するTK/PPDからサンプルを抽出して行われます。このプロセスの目的は、教師の下した採点がTK/PPDの内容に見合ったものになっているかどうかを判断することにあります。

学校から提出されるサンプルの TK/PPD は、必ず IBIS 上で特定されたもので、IBIS からアップロードされなければなりません。

サンプルに選ばれた志願者のうち、複数人が同じグループプレゼンテーションを行った場合は、Change ボタンを使って同一または類似の得点で異なるプレゼンテーションを行った志願者を追加してください。

学内に TOK の担当教師が 2 人以上いる場合は、各志願者の最終得点を決定する前に、学内の採点結果を標準化する必要があります。

## C8.3.5 プレゼンテーションの録画

各試験セッションで、一部の学校に対し、志願者のプレゼンテーションの一部または全部を録画することが義務づけられる場合があります。

### もっと詳しく

これらの学校は、以下の理由から選ばれる可能性があります。

- 無作為に、計画と実際のパフォーマンスの関係を調べるのが目的
- 生徒が優れたプレゼンテーションを行っており、教職員養成の目的で使える可能性があるため
- 異例と思われる結果が見られたため（例えば、以前の試験セッションで、プレゼンテーションの得点とエッセイの得点の間に通常ではない相関性が見られるなど）

要請がない限り、学校がプレゼンテーションを録画する必要はありません。選ばれた学校は、提出期限の 14 カ月前、即ち **4 月 20 日**（5 月の試験セッション）および **10 月 20 日**（11 月の試験セッション）に通知されます。

## C8.4 外部評価エッセイ

### C8.4.1 トピックの選択

それぞれの試験セッション向けに、6 つの所定課題が出題されます。5 月の試験セッション向けには前年の **9 月 1 日**、11 月の試験セッション向けには同年の **3 月 1 日** に発表されます。

所定のタイトルはプログラムリソースセンターの TOK ページ、および IBIS 上で新着情報として表示されます。

志願者のエッセイは、発表され、志願者が選択した題に照らして評価されるため、志願者は題を変更することができません。正しい所定課題の 1 つに従って書かれていないエッセイは、自動的に 0 点となります。

志願者は、TOK エッセイの評価に使用される評価規準について必ず知っていなければなりません。

(エッセイの内容を裏づけるのに不可欠である場合を除いて) イラストや画像はエッセイのいかなる部分においても使用**できません**。

志願者は自身のエッセイのいかなる部分においても、個人を特定できる要素を含めないように配慮してください。例えば、

- 名前 (例えば、自分自身の名前、または学校や教師の名前)
- 受験番号や個人コード
- 学校のロゴ

## C8.4.2 エッセイの提出

すべての TOK エッセイは必ず IBIS を通じてアップロードします。

各試験セッションについては、IBIS 上の新着情報としてエッセイのアップロードを開始できる **1月または7月**の日付が発表されます。アップロードを終了する締切日は、筆記試験の約2カ月前にあたる **3月15日または9月15日**です。

## C8.4.3 計画および進捗フォーム (TK/PPF) の提出

学校は IB に志願者ごとに1通の TK/PPF を提出する必要があります。同フォームを提出しなかった場合、当該志願者に結果的に成績が付与されない場合があります。同フォームのねらいはエッセイ執筆のプロセスを強化し、志願者の学習成果物が実際に本人が取り組んだものであることを裏づけることです。必ず、担当のコーディネーターによってアップロードされなければなりません。TK/PPF を TK/PPD と混同しないようにしてください。

# C8.5 規則

## C8.5.1 2018年5月と11月の試験セッション

- すべての IB ディプロマ資格取得志願者は、1600 語 (日本語は 3200 字) 以内のエッセイを、志願者が登録している試験セッション用に出题される6つの所定課題のうちの1つについて執筆し、提出しなければなりません。
- ディプロマ、コース、または再試験のカテゴリーで登録した志願者のみが、TOK に登録することができます。コースの志願者は、1回の試験セッションで、TOK に2回以上登録することはできません。
- TOK の成績向上を望む、再試験の志願者は、プレゼンテーションの点数を持ち越すか、新しいプレゼンテーションを行うことができます。

- TOK の成績向上を望む、再試験の志願者は、志願者が登録している試験セッションの所定課題の一つに基づいた TOK エッセイを提出しなければなりません。
- IB ディプロマ資格取得志願者が、TOK の履修を取り消した場合は、他のすべての科目の履修を取り消していなくても、カテゴリーがディプロマからコースに変更されます。
- EE または TOK の成績が E である場合は、ディプロマ資格は授与されません。ディプロマ資格が授与されるには、これらの要件の両方で少なくとも「D」の成績を得る必要があります。

## C8.6 予測スコアの提出

コーディネーターは、プレゼンテーションとエッセイを組み合わせたパフォーマンスに基づいて、各志願者の予測スコアを提出する必要があります。予測スコアは、プログラムリソースセンターの **Assessment > General materials** にある IB 資料『成績評価の説明』に基づいて決定されなければなりません。これらのスコアは必ず **4月20日または10月20日**までに IBIS 上で入力します。

## C8.7 提出期限一覧：2018年5月と11月の試験セッション

コースワークはすべて、IBIS eCoursework システム経由で提出します。コーディネーターおよび教師は提出時に必要となるフォームの詳細について、「評価用フォーム」を参照してください。

提出日については、「評価に関する重要日程」を参照してください。

セッション	行動	方法	提出期限
2018年5月／ 2018年11月	評価用に TOK エッセイをアップロード	IBIS eCoursework へアップロード	2018年3月15日／ 2018年9月15日
2018年5月／ 2018年11月	TK/PPF を提出	IBIS eCoursework へアップロード	2018年3月15日／ 2018年9月15日
2018年5月／ 2018年11月	TOK 予測スコアとプレゼンテーションの採点結果を提出	IBIS 経由	2018年4月20日／ 2018年10月20日
2018年5月／ 2018年11月	TK/PPD サンプルを提出	IBIS eCoursework へアップロード	2018年4月20日／ 2018年10月20日